

TAGIRON

タギロン



ゲームデザイン: 倉橋良平(ブッコ)
企画・製作: 白坂翔

これは「論理パズル」を対戦形式にしたゲームです。質問カードを駆使して、先に相手のタイルを全て当てることができれば勝ち！さあ、論理をたぎらせろ！

内容物 ※ゲームで遊ぶために別途筆記用具が必要になります。

・数字タイル…20枚(0~9が各2枚) ・質問カード…21枚 ・ついたて…4枚 ・説明書…2枚 ・メモ用紙

遊び方(2人用ルール)

ゲームの準備

数字タイルを裏にしてよく混ぜ、各自5枚ずつ取ります。それぞれ1枚のついたてを立て、自分のタイルを隠して相手から見えないようにします。タイル5枚を表にして自分だけが確認したのちに、左から小さい数の順に並べていきます。また、同じ数がある場合は必ず赤い方を左に並べます。取らなかったタイルは使わないのでよけておきます。次に質問カードを裏返しにしてよく混ぜ、上から6枚を中央に表向きに並べます。他のカードは山にしておきます。



ゲーム開始

適当な方法で先攻・後攻を決めます。先攻プレイヤーは、場に並べてある6枚の質問カードの中から1枚を選び、そのカードに書かれた質問を対戦相手にします。質問された側はその質問に対して正直に答えます。質問した側は相手の回答をメモするといいでしょ。その後、質問カードの山から1枚めくり場に補充して、後攻プレイヤーの手番となります。

常に質問カードは6枚公開されているようにします。交互に質問を行い、より早く相手のタイル5枚の色と数字を完璧に当てる事を目指します。

[共有情報カード]はプレイヤー全員が質問に答えなければいけません。

各質問カードについての補足については、以下ご確認ください。

5はどこ？ … 数字があれば「左から2番目です」などと答えます。2つあれば、両方を答えます。

1または2はどこ？ … 質問する側が1か2のどちらかを選び、質問します。指定された数字が2つあれば、両方を答えます。

連続で隣り合っている色はどこ？ … 数字タイルが(赤0、赤3、青6、青7、赤9)の場合は「左から1番目から2番目までと、左から3番目から4番目」などと答えます。

連番になっているタイルはどこ？ … 数字タイルが(赤1、赤2、青4、赤8、青9)の場合、「左から1番目から2番目までと、左から4番目から5番目」などと答えます。青7、赤8、青8、赤9のような並びの場合は、青7赤8と、青8赤9の2つに分けて伝えます。4・5・6などと3つ並ぶような場合も全て示します。

宣言

互いに質問を繰り返していくと、だんだんと相手の持つ5つの色と数字が分かってきます。完全に分かったと思ったら、「宣言」をします。宣言をするには、自分の手番に質問をする代わりに「宣言します！」と言います。その後、相手の5枚のタイルを小さい数から順に「赤の0、青の2、緑の5、赤の6、青の6！」などと言います。宣言された側は相手の宣言が完全に合っていたら「正解！」と伝え、違っていた場合は「違います！」と言います。一部が当たっていても、それを伝える必要はありません。完全一致かどうかだけの判断になります。宣言に失敗しても、また次の自分の手番で続けて宣言することは可能です。

先攻プレイヤーが正解したときに限り、後攻プレイヤーもその後一度だけ宣言する事ができます(質問はできません)。後攻プレイヤーの宣言が正解だった場合は引き分けとなります。

宣言を選択した手番では質問ができないため、リスクが伴います。宣言するタイミングは慎重に選びましょう！

質問カードの山がなくなったら、補充はもうできません。場のカードを全て使い切っても正解が出ない場合は、引き分けとなります。

3~4人用のルールは裏面にございます

🌿 3人用ルール

相手の持つ5つの数と色を当てるのではなく、使われていない5枚の色と数字を当てます。3人になることでメモの仕方もより難しくなります。さらにたぎること間違いナシ！

ルールの変更点

各プレイヤーは数字タイルを裏にしてよく混ぜ、5つずつ取ります。残った5枚のタイルはテーブル中央に伏せて置いておきます。この5枚を当てるのが目的です。質問は時計回りに行います。質問された2名のどちらともが回答します。自分の手番でなくともヒントが貰えることも重要です。

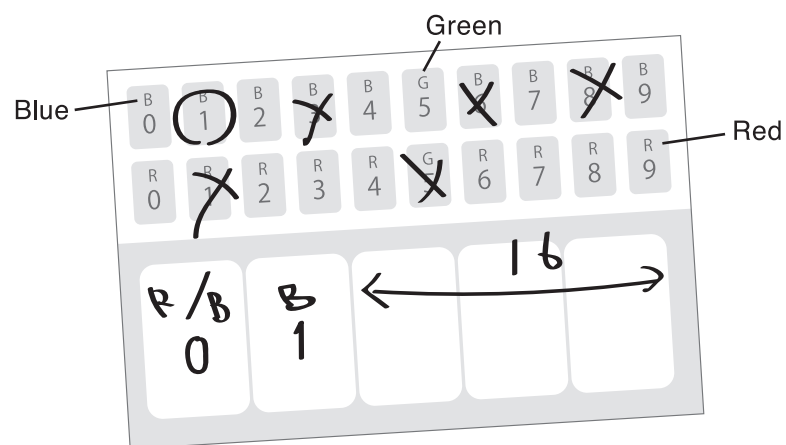
勝利条件

中央に伏せた**5枚のタイル**をなるべく早く当てることが目的です。

宣言の仕方

3人用ルールでは、自分の番でなくとも宣言が可能です。またゲーム中、ひとり一度しか宣言のチャンスはありません。宣言したいプレイヤーは、解答をメモ用紙などに記入して、自分だけが見れるようにした上で「**宣言します！**」と言います。中央の伏せタイル5枚を自分だけで確認し、完全に合っていたら『**正解！**』と宣言して勝利となります。

少しでも間違っていた場合は、間違っていたことを宣言しゲームから脱落します。脱落したプレイヤーは質問カードを選ぶことは出来ませんが、他プレイヤーの質問には答えなければいけません。確認したタイルを公開してはいけません。2位が決まるか、全プレイヤーが脱落したらゲーム終了となります。



🌿 4人用ルール

それぞれの手持ちのタイル数は4枚。使われていない4枚の色と数字を当てます。さらに、質問には質問者を含む4人全員が常に答えます。

ゲームの準備

「**中央の3枚の合計数は？**」と「**[共有情報カード]中央の数字タイルは5以上？4以下？**」のカード2枚をゲームから除外します。(4人用ルールでは使用しません)

ルールの変更点

各プレイヤーは数字タイルを裏にしてよく混ぜ、4つずつ取ります。残った4枚のタイルはテーブル中央に伏せて置いておきます。この4枚を当てることが目的です。質問は時計回りに行います。**全ての質問カードは[共有情報カード]として扱い**、質問者を含む4人全員が常に質問に解答します。質問に全員が答えたら、1～2分間メモを取る時間を作ってもいいでしょう。

勝利条件

中央に伏せた**4枚のタイル**をなるべく早く当てることが目的です。

宣言の仕方

自分の番でなくとも宣言が可能です。またゲーム中、ひとり一度しか宣言のチャンスはありません。宣言したいプレイヤーは、解答をメモ用紙などに記入して、自分だけが見れるようにした上で「**宣言します！**」と言います。中央の伏せタイル4枚を自分だけで確認し、完全に合っていたら『**正解！**』と宣言して勝利となります。

少しでも間違っていた場合は、間違っていたことを宣言しゲームから脱落します。脱落したプレイヤーは質問カードを選ぶことは出来ませんが、他プレイヤーの質問には答えなければいけません。確認したタイルを公開してはいけません。2位～3位が決まるか、全プレイヤーが脱落したらゲーム終了となります。

ゲームデザイン: 倉橋良平(ブッコ) 企画・製作: 白坂翔

製造・販売元

株式会社ビチカートデザイン 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町10-2 新東京ビル202

<http://jelly2games.com>